

平成30年度市民提案型事業 行政テーマ

行政テーマ名	地域で支える子ども・子育て支援
総合戦略の位置づけ	若者の定住促進政策
1 テーマの選定理由	
<p>人口減少が本格化する中で、少子化が喫緊の課題となっており、その要因の1つとして子育てにかかる精神的・経済的負担の増大が挙げられ、子育て世帯の負担軽減に向けた支援の充実が求められます。また、次代の五所川原を担う人材である子どもたちが等しく将来にわたって様々な夢を描けるよう、多様な支援に努める必要があります。</p>	
2 テーマに関する市の取組内容と課題	
<p>市では、子ども・子育て支援を推進するため、各種医療費助成や支援サービスの提供、安全・安心な教育環境づくり等を行っていますが、多様化するニーズや厳しい財政状況の中で、すべての分野で手厚い支援を行うことは困難であり、子ども・子育て支援は、行政のみならず多様な主体による取組が重要であると考えています。</p>	
3 期待する成果	
<p>様々な立場・視点から子ども・子育て支援活動が展開されることで、多世代間の交流が生まれるとともに、子育て世帯における負担軽減や、一人一人の子どもの健やかな成長につながるなど、子育てしやすい社会の実現に寄与することが期待されます。</p>	
4 市の役割と団体の役割	
<p>【市の役割】</p> <p>①財政的支援（補助金の交付）</p> <p>②市民団体等が実施する取組の広報PR</p> <p>【団体の役割】</p> <p>①地域で支える子ども・子育て支援に向けた取組の企画・運営</p> <p>②取組結果の評価・成果報告</p>	
5 想定する具体的な取組の内容	
<p>具体的な取組は、子育て世帯の負担軽減や子どもの人材育成など、子ども・子育て支援につながるもので、市民団体等の創意工夫のもと提案いただきますが、市が想定する主な取組は以下のとおりです。（※以下は例示であり取組内容を限るものではありません）</p> <p>①親子交流イベント・子育て支援セミナー・情報交換会等の開催</p> <p>②子ども・若者向けの人材育成講座の開講</p> <p>③子ども・若者の自由な発想によるアイデアを発掘するような取組 など</p>	